

【生産者の声】



基盤整備により作業条件が改善されたため、大型機械での適期作業が可能となり、収穫量、品質が向上しました！

H25新規就農されたIさん

基盤

農地や農業施設整備によるにんじんの生産拡大

区画整理、暗渠排水、客土などにより、経営の**大規模化**や**農業の効率化**を実現するとともに、畑地かんがい施設の整備により、「**にんじん**」や「**たまねぎ**」の**生産拡大**と**品質の高水準化**



畑地かんがいによる安定生産、品質の高水準化



コントラクターによる収穫作業

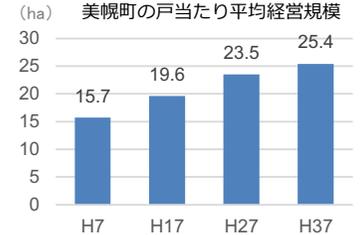


基盤整備

(S46年～現在)

【整備前】

- 経営規模拡大に伴う**省力化**が課題
- 地域は雨が少なく、**干ばつ**が発生
- ブランド力向上のため、**生産量**や**品質の安定化**が課題



農林業センサスより
(H37年は中央農業試験場による予測値)

【取組地域の概要】

- 位置
北海道 美幌町



- 主要作物
・にんじん、たまねぎ、小麦、ばれいしょ、てんさい等

- 主な支援施策
・国営畑地帯総合パイロット事業 (S45～)
・道営畑地帯総合整備事業 (S46～)
・産地パワーアップ事業 (H28,29)
・強い農業づくり事業 (H29)

生産現場

消費者の期待に応えるにんじん生産

- 生産組合が各ほ場の**播種～収穫時期を管理**し、**高品質長期出荷体系を確立**
- 普及センターと生産組合が連携し、**消毒散布量の指針化**及び**生産履歴による適正農薬使用量の確認**を行い、**安心安全な作物提供を実現**

加工・流通

労力不足解消・高品質を実現する取組

- **コントラクター**による**収穫・洗浄**を実施、真空予冷・予冷後、高鮮度のにんじんを**翌日には全国各地へ出荷**
- JAびほろオリジナル商品「**彩るソース**」の開発
- シンガポール市場への**にんじん輸出を徐々に拡大**
(平成27年度0.5tから平成29年は2.0t)



担い手

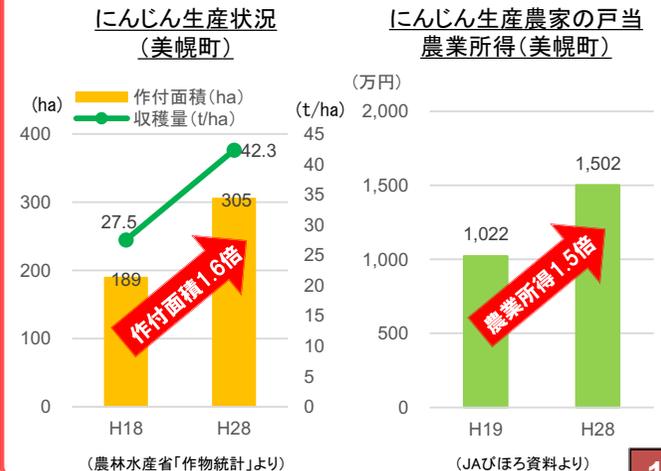
次世代農業者のサポート

- 新規就農から経営移譲までの各ステージに合わせた**教育研修**による支援を実施
- 次世代農業者の新たな営農展開を見据えた**ICT技術の普及推進**を図る取り組みを実施



にんじんの生産拡大による所得の向上

- 各種取組の推進により美幌町の**にんじん作付面積**は平成28年時点で平成18年の**約1.6倍**、**単位面積当りの収穫量**も**約1.5倍**に増加
- にんじんを含む野菜を生産体系に取り込んだ農業者の**農業所得が約1.5倍**に増加



【生産者の声】



畑かん施設の整備により適期に必要な水を供給することができ、干ばつの影響も受けず、高品質且つ安定したたまねぎの生産・収量が実現しています。

北見市留辺蘂町のIさん

基盤

基盤整備により効率的で安定的な農業経営を確立

区画整理、暗渠排水、客土などにより、**大規模化や効率化**を可能にするとともに、畑地かんがい施設の整備により、**たまねぎの生産安定化と品質の高水準化**を実現。



初期成育の改善



基盤整備

(S45年～現在)

【整備前】

地域は**雨が少なく**、土壌は褐色森林土で**保水性に乏しい**ため、度々**干ばつ**が発生していた。

土壌の水分不足で乾燥し、収量や品質が低下



【取組地域の概要】

○位置

北海道 北見市・訓子府町・置戸町



きたみ
北見地域

○主要作物

- ・たまねぎ、白花豆、小麦、てんさい、ぱれいしょ等

○主な支援施策

- ・国営畑地帯総合パイロット事業(S45～)
- ・道営畑地帯総合整備事業(S55～)
- ・強い農業づくり交付金(H18)
- ・産地パワーアップ事業(H28)

流通・加工

海外への販路拡大と加工品の開発

- 農産物の海外への販路拡大に向け、官民6団体が一体となり**北見産農産物輸出促進協議会**を設立。平成28年度より**ロシア極東へ輸出開始**。



- 焼肉の街北見にちなみ、たまねぎを使用した焼き肉のタレ、たまねぎ醤油など、たまねぎを使った**様々な商品を開発**。



生産現場

通年出荷体制の構築とコスト縮減

- たまねぎの**安定供給体制確立**のため、国内最大規模のたまねぎ冷蔵貯蔵施設を建設し、**長期保存を実現**。

また、効率化のため隣接地に選果場を建設し、**コスト縮減**に取り組んでいる。

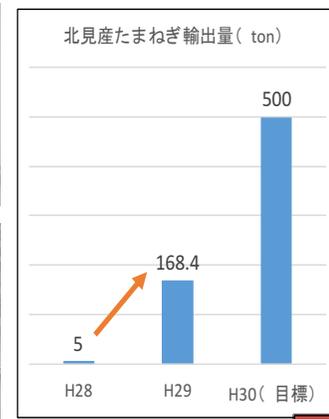


集出荷貯蔵施設

新たなマーケットの開拓による所得の確保

- 散水により土壌水分を調整し**作物の初期成育を改善**。
- 所得の確保のため**ロシア極東へ販路を開拓**。日本では加工用として流通する**小玉をニーズに合わせて輸出**。
- 今後、ロシアへの**大幅な輸出拡大**や新たに東南アジア、台湾、韓国への**販路拡大を目指す**。

■ロシアでの販売状況



【生産者の声】

整備により大型機械での効率的な営農が実現しました。余剰時間を活用し、酪農体験やチーズ作りにより食育などに取り組んでいます。

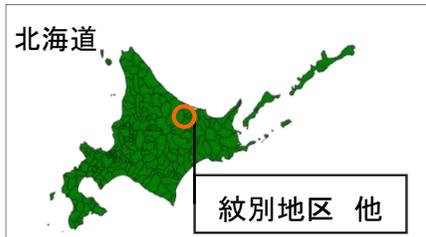


地域の酪農家5戸で形成

「農業塾」(ふれあいネット)

【取組地域の概要】

- 位置
北海道 紋別市 (過疎指定)



- 主要作物
・牧草、飼料用とうもろこし
- 主な支援施策
・道営草地整備改良事業(S56~H23)
・国営草地開発事業(S55~H3)
・畜産担い手育成総合整備事業(H11~H29)
・農業基盤整備促進事業(H26~)

基盤

飼料基盤整備による農業生産性の改善

草地整備により、凹凸や湿害が解消され、**大型機械の導入が可能**となり、**効率的な営農が実現**。牧草の**反収向上**や**労働時間の短縮**で農業経営が安定。

- ・凹凸や湿害が解消された草地
- ・大型機械の導入が促進



基盤整備

(S56年~現在)

【整備前】

地域は高齢化等により、**労働力不足が深刻**であり、法人の育成に取り組んできた。しかし、**草地の凹凸や傾斜、湿害**により機械の走行性が悪く大型機械の導入が進まず、**効率的な営農に支障**を来していた。



凹凸や湿害による刈り残し

生産現場

農地フル活用による低コスト経営と先進的機械導入

- 牧草ととうもろこしを飼料とした飼料自給率は全道平均を上回り、**低コストで良質な飼料生産**により安定した経営。
- 農地集約化**や**大型機械・搾乳ロボットの導入**により**効率的な営農**を展開し、生乳を安定生産。



搾乳ロボットの導入

加工・流通

バター生産量日本一の重要産地

- 年間7千トンのバターを生産し**生産量は日本一**。**日本の需要を支える**重要産地。
- 地域で生産される**バター**は生乳を原料に伝統的な製法を用いた**上品でまろやかな味わい**。

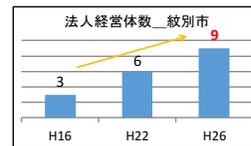


伝統的なバター製法

担い手

持続的な担い手となる法人を創出

- 地域の基幹産業である農業の収益力向上を図るため、**新たな畜産経営法人の創出**に取り組んでおり、**法人が増加**。



安定した酪農経営と六次産業化の取組

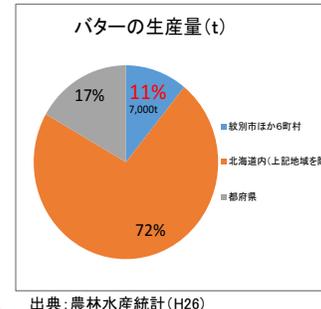
- 基盤整備による効率的な飼料生産が**安定した酪農経営**を支えている。
- 基盤整備による省力化や法人化の取り組みで、**食育やチーズ作り**など、**地域活性化や所得向上**につなげている。

■飼料自給率と飼養頭数

区分	飼料自給率	戸当り乳用牛飼養頭数(頭/戸)
紋別市	58.5%	150
北海道	49.4%	115
都府県	14.1%	46
全国	32.7%	68

出典:紋別市、農林水産省資料

■アジアゴ・八十士



出典:農林水産統計(H26)



出典:紋別市聞き取り

【生産者の声】

基盤整備の実施により、作業時間が短縮されたため、新たな作物「にんにく」の生産を始めました。



受益農家(にんにく部会長)の宮川さん

基盤

基盤整備による農作業の効率化

排水整備により湿害等が解消され、**大型機械による効率的な営農が展開**されるとともに、畑地かんがい施設の整備により**適期の散水が可能**となり安定した**作物の高品質化を実現**。



基盤整備
(S48年～現在)

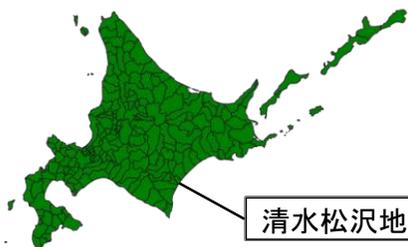
【整備前】

地域は、**排水性の悪い土壌が広範囲に分布**しており、大型機械の走行に必要な**農地の地耐力不足**や、**頻発する干ばつ**による品質低下が課題であった。



【取組地域の概要】

- 位置
北海道 清水町 (過疎地域 辺地)



- 主要作物
・小麦、てん菜、豆、馬鈴しょ等

- 主な支援施策
・国営かんがい排水事業(S59～H7)
・道営畑地帯総合整備事業(S48～)
・団体営農地耕作条件改善事業(H29～)

生産現場

完熟たい肥「しみず有機」を活用した野菜生産

- 大型機械による営農や甜菜直播の導入により、**労働時間が短縮**。これによりJAが製造する完熟たい肥「**しみず有機**」を活用した**ブランド野菜の生産**に積極的に取り組む。

- また、既存生産品目と作業時期の重複が少ない高収益作物として「**にんにく**」の**生産を開始**。



加工・流通

規格外品を活用した黒ニンニクの加工・販売

- 「にんにく」の**乾燥貯蔵施設を導入**し、徹底した品質管理を図るとともに計画的な出荷・販売を実現。

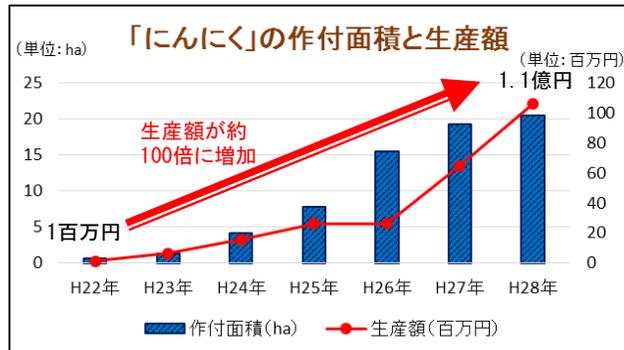
- 近隣市町村やコープ札幌などに販路を拡大。さらにJAはネット販売で**収益性向上**を図る。

- さらに、生産者の所得を増やすため、**規格外の「にんにく」を加工**。JAが**黒にんにく製造機を導入**し、**加工・販売**。



高収益作物の拡大とブランド力向上

- 基盤整備により効率的な営農が実現し、**野菜の生産が拡大**。
- 「しみず有機」を使った元気土から育った野菜を「**とれたんと**」ブランドとして、**高品質で安全安心な野菜を全国に出荷**。
- 「にんにく」の生産額は**1億円を超える**とともに、加工品の販売額も**8千万円**になるなど収益力が向上

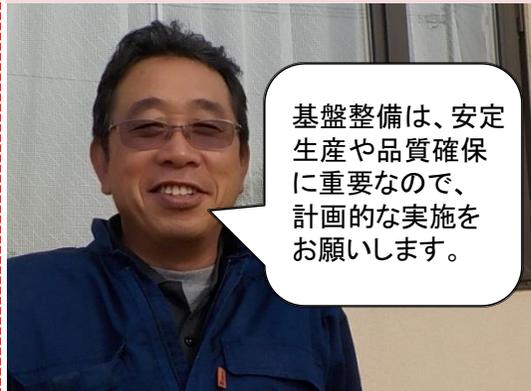


【出典：JA十勝清水町】

基盤整備を契機として新たな高収益作物の産地化を推進

おとふけちょう
【北海道音更町】

【生産者の声】

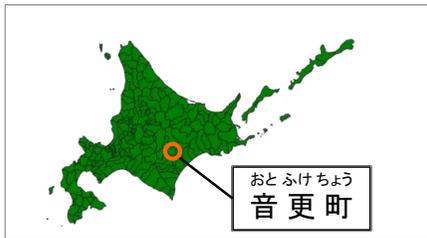


基盤整備は、安定生産や品質確保に重要なので、計画的な実施をお願いします。

にんじん生産者の茂古沼さん

【取組地域の概要】

○位置
河東郡音更町（過疎地域 辺地）



おとふけちょう
音更町

○主要作物
・小麦、豆类、馬鈴薯、甜菜、野菜類
産地指定：野菜（にんじん・たまねぎ）

○主な支援施策
・国営かんがい排水事業（S46～H1）
・畑地総合整備事業（S44～H22）
・農地整備事業（畑地帯担い手育成型）（H23～）
・農業生産体質強化総合推進対策事業（S63～H9）
・強い農業づくり事業（H17～H23）
・産地パワーアップ事業（H27～H30）

基盤

基盤整備による生産性向上と営農作業の効率化

暗渠排水や除礫等の整備による生産性の改善と、大型機械化による農作業の省力化の結果、大豆などの主要作物の安定生産が可能となるとともに、畑かん用水の確保により、にんじんなどの高収益作物の導入が促進された。



JAが所有する収穫機が稼働



畑かん散水状況

基盤整備

（S46年～現在）

【整備前】

火山性土壌に起因する湿害や耕土に石礫を多く含むため、生産性の低下、作業機械の損傷等、安定した農業経営に支障を来していた。



石礫状況



湿害状況

生産現場

作業受委託生産方式の導入により省力化

○ JAおとふけは、にんじんの播種機・収穫機等を所有。播種・収穫作業などを受託し、労力や機械コストを低減。
○ 収穫したにんじんは、フレキシブルコンテナバッグに詰め、トラックで1時間以内に選果場に搬入。



受託による播種作業



ほ場から選果場へ

加工・流通

出荷先まで鮮度を保つコールドチェーンを確立

○ H17年ににんじん洗浄選別施設を新設し集出荷体制を構築。
○ 選果施設に搬入後、低温状態を維持して選別などを行い、真空冷却で芯温を3℃にして貯蔵・出荷。
○ 生協「パルシステム連合会」の「産直原料プロジェクト」と連携し、オリジナル商品の原料として高品質な「おとふけ産」を提供。



真空予冷装置

地域振興

産地化による生産拡大で新たな雇用を創出

○ 収穫・選果作業で、最盛期には1日200人以上の雇用を創出。
○ 収穫・選果作業は、7月下旬から11月下旬までの毎日実施。

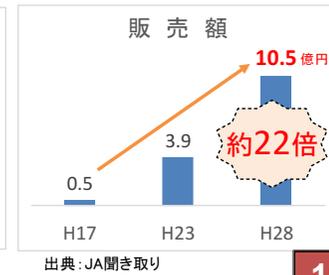
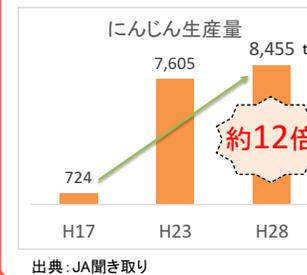


選果作業

基盤整備により土地生産性が飛躍的に向上

- 基盤整備の効果により従来の主要作物である小麦、大豆、甜菜、馬鈴薯に、にんじんを加えた新たな輪作体系が確立され生産性が向上。
- 農作業の受委託方式と鮮度保持を重視した選果施設の新設により高収益作物（にんじん）の生産を拡大。
- 生産出荷体制の構築によりPBオリジナル商品の産直原料としても高い評価を受けるなど販売力が拡大。

・パルシステムのオリジナル商品、「キャロットさん」、「うらごし野菜・人参（産直）」



出典：JA聞き取り

出典：JA聞き取り

安定した水供給の確保等により経営規模拡大を実現

たいきちよう
【北海道大樹町】

【生産者の声】

営農用水施設の整備と草地整備により用水の確保と作業時間の大幅な削減が図られ、規模拡大を図ることができました。また、優良な牧草が生産できたおかげで生乳生産量も増えました。

乳牛の総頭数
整備前 400頭
整備後 2,000頭

整備後に法人化したAさん

営農用水施設の整備による用水の安定的な確保

営農用水施設の整備による用水の安定的な確保や補水作業に係る労力の大幅な軽減と、草地整備による採草に係る作業性の向上により経営規模拡大が促進。

さらには、優良な牧草の生産が可能となったことにより生乳生産量の大幅な増加が図られた。



経営規模拡大後の牛舎(外観)



経営規模拡大後の牛舎(内部)

基盤整備

(H3年～現在)

【整備前】

家畜頭数の増加などにより水需要が増加。現状の施設規模では必要水量の供給が困難なため、補水作業を余儀なくされていた。また、草地の不陸や排水不良、雑草の混入等により作業性や生産性が低下しており、地域の酪農家にとって経営規模拡大は困難な状況であった。



緊急補水作業の状況



不陸や排水不良の状況

【取組地域の概要】

○位置

北海道 大樹町 (山村振興等)

北海道



大樹第1地区 他

○主要農畜産物

・生乳、肉牛、だいこん、馬鈴薯、てんさい 等

○主な支援施策

- ・道営畑地帯総合整備事業 (H3～H13)
- ・草地畜産基盤整備事業 (H15～H28)
- ・通作条件整備事業 (H26～)
- ・水利施設等保全高度化事業 (H27～)
- ・強い農業づくり交付金 (H17～H25)

生産現場

大規模経営に即した負担軽減の取組

○搾乳ロボットや給餌ロボット等の導入が進むなど、大規模経営に対応した負担軽減を図る取組が地域の酪農家により進められている。



ロータリーパーラー

加工・流通

大手乳業メーカーによる加工・製造・販売

○生乳は雪印メグミルク大樹工場により「カマンベールチーズ」「さけるチーズ(プレーン)」「クリームチーズ」として加工・製造され、全国各地で販売されているほか、海外にも輸出されている。



大樹工場で製造される製品

地域振興

地域で製造した商品を地域振興に活用

○「さけるチーズ」を用いた「大樹チーズサーモン丼」が町の複数の飲食店で提供されるなど、当地グルメとしてまちおこしの一端を担っている。



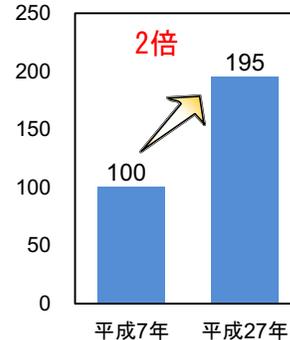
大樹チーズサーモン丼

基盤整備を契機とした経営規模拡大と生産量の向上

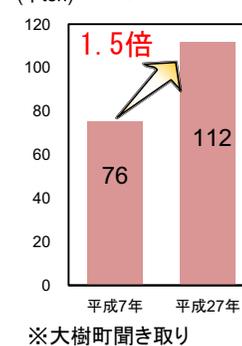
○営農用水施設の整備や草地整備による必要水量の確保や作業時間の短縮を契機として、乳用牛の戸当たりの飼育頭数が平成7年で100頭であったのに対し、平成27年には195頭まで増加するなど、意欲ある酪農家が経営規模を拡大するなどの合理化が図られた。

○優良な牧草の生産が可能となったことに伴い、地域の生乳生産量も平成7年と平成27年で比較し75,659tから111,872tへ大幅に増加するなど、経営の安定化が大きく図られている。

乳用牛の飼育頭数の推移



生乳生産量



※大樹町聞き取り

【生産者の声】



基盤整備のおかげで、営農作業の効率化・省力化が図られました。
また、営農に係る労働時間が大幅に減り、生乳を利用した商品の開発や販売に専念できるようになりました。

6次産業化生産者(A農場経営者)

基盤整備による生産性の向上と省力化

草地整備や暗渠排水により、**飼料の収量が向上**するとともに**適期収穫を実現する大型機械の導入が可能**となった。
また、公共牧場の整備により、**預託能力が強化され労働負担の軽減**が実現した。

基盤



基盤整備

(S42年～H30年)

【整備前】

草地の不陸や排水不良、雑草の混入、裸地化などは、生産性や作業性を低下させるとともに、**経営規模拡大に伴う労働負担の増加・生乳の高付加価値化推進への弊害**が課題となっていた。



【取組地域の概要】

- 位置
北海道川上郡標茶町(山村振興等)



- 主要作物
・牧草等
- 主な支援施策
 - ・国営草地開発事業(S42～46)
 - ・公共育成牧場整備事業(S54～58)
 - ・公共牧場整備事業(H8～14)
 - ・公共牧場整備事業(H19～24)
 - ・道営草地整備事業(H24～30)

営農支援システムの活用

生産現場

- 公共牧場での**哺育事業**や**乳用生育成**などの**外部預託化**により、搾乳のみを基本とした**多頭飼育経営が実現**。
- 農協で**ICTを活用**した営農支援サービスを導入、**植生状況を可視化し草地管理労力を低減**。



時間の創出による6次産業化の取組

加工・流通

- 基盤整備による省力化で**6次産業化の取組を推進**
- 新鮮な生乳を用いた**チーズ・ヨーグルト**など**高付加価値化を進め地域活性化**。



基盤整備を契機に後継者確保へ

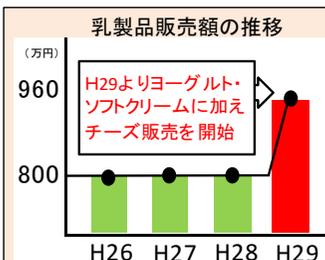
担い手

- 標茶町やJAなどの共同出資で**農地所有適格法人(株)TACSLしべちやを設立**。酪農研修、新規就農者宿泊施設(しべちや農楽校)を管理運営。



経営規模拡大等による所得向上

- 営農作業の**効率化**や**外部預託化の推進**により労働負担が軽減し、**経営規模拡大を実現**。
(戸当たり経営面積:45.1ha(H8)→80.6ha(H27))
- 多頭飼育による**生乳生産量増加**や**創出した労働力**を活用し**加工品の開発・販売**等の取組を通じて、**戸当たり農家所得の向上を実現**。



出典：A農場聞き取り

出典：標茶町HP、農林業センサス、JALしべちや

【生産者の声】



草地整備によって牧草収量が増えて作業効率も良くなりました。また、植生が改善され品質も向上し、牛の病気も少なくなりました。

H26新規就農されたOさん

基盤

草地整備の実施による生産性の向上

- 起伏修正等の草地整備により凹凸や傾斜が解消されることで走行性が改善し、**牧草の単収向上**や営農作業の効率化による**労働時間の短縮**により、**農業経営の安定化が実現**。



牧草の収穫

基盤整備

(H23年～現在)

【整備前】

- 草地の起伏（凹凸）や傾斜により機械の走行性が悪く、**効率的な営農や規模拡大に支障**。



小型機械による収穫作業

【取組地域の概要】

○位置

北海道標津郡中標津町



中標津地区 他

○主要作物

- ・牧草、青刈りとうもろこし等

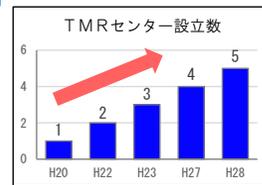
○主な支援施策

- ・国営開墾建設事業（S26～S40）
- ・新酪農村建設事業（S48～S58）
- ・国営草地開発事業（S56～H3）
- ・道営草地整備事業（S51～）
- ・農地耕作条件改善事業（H28～）
- ・多面的機能支払交付金（H26～）

生産現場

生産の合理化による経営の安定化

- 計画的な草地整備と併せた**TMRセンターの設立・活用等**による飼料生産の合理化により、**さらなる農業経営の安定化と飼料自給率の向上**を実現。



TMRセンター



加工・流通

乳製品のブランド化と6次産業化の取組

- J A 中標津では「なかしべつ牛乳」、「なかしべつ珈琲」、「なかしべつなめらかクリームチーズ」等の**ブランド名で地元店舗やインターネットで商品を販売**。
- 農家単位でも**ソフトクリームの販売**、**ファームレストランでの乳製品を使ったメニューの提供**などの6次産業化の取組を実施。



(J A 中標津乳製品)



ファームレストラン



ソフトクリーム販売

円滑な経営移譲と未来の経営者への加工体験

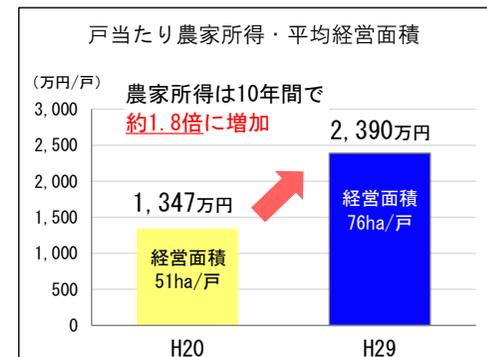
- 農家継承事業等による第三者継承により**円滑な経営移譲が実現し、地域の生産性が維持**。
- 畜産食品加工研修センターでは、農業高校の生徒などを対象とした乳製品等の体験研修を通じて**将来の6次産業化への取組を後押し**。



(研修成果(チーズ))

生産性向上や6次産業化等による所得向上

- 草地整備による生産性の向上やTMRセンター等の活用による生産の合理化により**経営規模の拡大と生乳生産量の増加が実現**。
- 併せて、「なかしべつブランド」の向上や6次産業化の取組等により**戸当たり農家所得は約1.8倍に増加**。



【出典：J A から聞き取り】